

はじめに

かつて林業試験場で講演をされたある著名な先生は「北海道は昔から緑の量がそこそこ多いが、質はあまり良くない。今後は緑の質を高めることが大事だ。」と云われました。それから早 30 数年が経とうとしています。はたして北海道の「緑の質」は高まったのか？かつての街路樹に比べますとかなり良くなってきていますが、質を高めるためにはまだまだ改善の余地があると思われまます。

また、近年地球温暖化の影響に伴い二酸化炭素の削減や都市のヒートアイランド現象の対策のひとつとして、都市の「みどり」の量の増大や質の向上が求められてきており、街路樹もその一翼を担っております。

林業試験場ではこれまで公園や街路をはじめとする緑化に関する研究課題に取り組み、出版物の執筆や報告書の作成・配布、講演会・研修会への講師派遣などを行ってきました。

そこで、今回は「街路樹」の量を増やし、質を高めるために、これまでのさまざまな成果も踏まえ、さらに新たなデータを収集し、「街路樹の造成マニュアル」を作成しました。「みどり豊かな街づくり」を目指し、今後の業務の参考にしていただければ幸いです。

北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場
緑化樹センター

この CD には「はじめに」のほか、以下のもので構成されています。

- ・みどり豊かな街路樹の造成マニュアル（65 P）
- ・北海道の街路樹事例集（90 P）
- ・街路樹は必要ですか？（8 P，一般普及用）
- ・北海道の街路樹一覧表